

2016年5月12日

台湾鐵路管理局との連携施策 第2弾！

6月17日（金）より、特急「りょうもう」号の塗装を 台鉄自強号「**普悠瑪**」のデザインに変更します！

～共通デザインの記念エンブレムも掲出します～

東武鉄道株式会社

東武鉄道（本社：東京都墨田区）と台湾鐵路管理局（本社：台湾台北市、以下 台鉄）では、2015年12月18日に友好鉄道協定を締結し、特急列車（スペーシア）への共通デザイン記念エンブレムの掲出や、相互乗車券交流サービスを実施していますが、2016年6月17日（金）から、特急「りょうもう」号200型車両 1編成の塗装を、台鉄自強号「**普悠瑪**」のデザインに変更します。

これは、日台における観光交流人口の増加を図るための台鉄との連携施策第2弾であり、足利市（栃木県）・館林・太田・赤城（群馬県）方面への特急である「りょうもう」号に台鉄の車両デザインを施し、台湾の皆様にも親しみをもってもらえることで、台湾から同方面への誘客を図ることを目的として実施するものです。なお、当社車両の塗装デザインが海外の鉄道事業者のデザインに変更されるのは初めてのこととなります。

台鉄自強号「**普悠瑪**」は、白い車体に赤色のラインがデザインされ、側面には「TRA（台湾鐵路管理局）」の文字が施されており、その洗練されたデザインは、台鉄の看板列車として台湾国内でも人気車両の一つとなっています。また、今回の「りょうもう」号の塗装変更にあわせ、共通デザインの記念エンブレムや、今年新造された台鉄自強号「**普悠瑪**」のみに掲出されている「猿」（今年の干支）マークも掲出しており、塗装デザインを忠実に再現しています。

今後も当社では、引き続き両者沿線のみならず、日台間の交流人口増加を図るため、各種連携施策を行っていきます。

詳細は別紙のとおりです。



△特急「りょうもう」号デザイン変更イメージ



△台鉄自強号「普悠瑪」



△現行デザインの特急「りょうもう」号

※お問い合わせは、東武鉄道お客さまセンター ☎03-5962-0102

特急「りょうもう」号 200型車両 塗装デザイン変更の概要について

1 塗装デザイン変更について

- (1) 使用車両 200型車両1編成(6両)
- (2) 再現方法 塗装及びラッピング
- (3) 運行期間 2016年6月17日(金)より当面の間
- (4) 運行区間 東武スカイツリーライン 浅草駅～伊勢崎線 伊勢崎駅・桐生線 赤城駅・佐野線 葛生駅

※車両運用計画により、日によって運行区間および運転時刻が変わります。

※運行開始日にあたる6月17日(金)に、浅草11時20分発 りょうもう13号にて、出発式を執り行う予定です。(詳細は後日ご案内いたします。)



△特急「りょうもう」号 デザイン変更イメージ



△特急「りょうもう」号 デザイン変更イメージ(側面)

2 記念エンブレムの掲出について

特急「りょうもう」号が台鉄自強号「普悠瑪」の塗装デザインに変更されることを記念して、それぞれの車体に共通の記念エンブレムを掲出します。

本エンブレムのデザインは、台鉄との連携施策第1弾にて実施した特急スペーシアと自強号「普悠瑪」での共通エンブレム掲出において使用したデザインを基本とし、一体感を創出しています。



△記念エンブレム(イメージ)

- (1) 掲出箇所 4号車側面 左右1か所、計2か所
- (2) 掲出期間 2016年6月17日(金)～12月31日(土)

3 「猿」マークの掲出について

今年新造された台鉄自強号「普悠瑪」のみに掲出されている「猿」(今年の干支)マークを掲出し、塗装デザインを忠実に再現しています。

- (1) 掲出箇所 1・6号車側面 左右1か所、計4か所
- (2) 掲出期間 2016年6月17日(金)～12月31日(土)



△掲出する「猿」マーク

特急「りょうもう」号および台鉄自強号「普悠瑪」について

■特急「りょうもう」号

「りょうもう」号は東京と群馬・栃木方面を結ぶ当社の特急列車の愛称です。主に東武スカイツリーライン 浅草駅～伊勢崎線 太田駅～桐生線 赤城駅間を運行しています。

- 1 使用車両 200型（9編成）・250型（1編成） ※1編成…6両
- 2 運行期間 200型 1991年～
250型 1998年～
- 3 概 要

「りょうもう」号は、東京と群馬県・栃木県を結ぶ急行列車として、1957年より運行を開始し、1969年からは新造した1800系車両により運行されました。1991年には1800系車両よりシートピッチを広げ、より快適なサービスを提供する200型を、1998年にはさらに省エネルギー・省メンテナンス化を図った250型を導入しました。1999年にそれまで急行としていた「りょうもう」号を特急に格上げし、スピードアップを図っています。

現在運行している200型・250型は、外観形状はスピード感のあるシャープな流線型を採用しているほか、ゆったりとした座り心地の良いシートで、主にビジネス特急として快適な移動空間を提供しています。



△特急「りょうもう」号

■台鉄自強号「普悠瑪」

「普悠瑪」号は、台鉄の潮州～高雄～台中～台北～花蓮～台東～知本を運行する、日本の鉄道では特急に相当する自強号の愛称です。

- 1 使用車両 TEMU2000型
- 2 運行期間 2013年～
- 3 概 要

台北～台東間を最速約3時間30分で結ぶ列車であり、「普悠瑪」の愛称名は一般公募で選ばれました。座席は回転式リクライニングシートが採用されており、快適な移動空間となっています。



△台鉄自強号「普悠瑪」

東武鉄道と台鉄との友好鉄道協定、連携施策（第1弾）等について

1 友好鉄道協定等について

2015年12月18日（金）、台鉄 台北駅にて、今後相互に交流を深め、友好関係を築くとともに、各々の誘客および諸サービスの交流を図ることを目的に友好鉄道協定を締結しました。また、締結を記念し、同日に共通デザインの記念エンブレムを掲出した列車で、日本と台湾でほぼ同時刻に出発式を実施しました。

(1) 共通エンブレム掲出列車

日本…東武鉄道 特急「スペーシア」※車両側面に4か所掲出
台湾…台 鉄 自強号「普悠瑪」※車両側面に4か所掲出



(2) 掲出期間

2015年12月18日（金）～2016年12月31日（土）

△特急「スペーシア」に掲出中の
共通デザインの記念エンブレム

2 連携施策（第1弾）等について

(1) 台北駅構内に東武鉄道PRコーナーを設置

東武鉄道沿線の四季を映像等で紹介しています。

(2) 「東武鉄道・台湾鐵路友好鉄道協定締結記念乗車券」の発売

2015年12月18日（金）より両者共通のデザインの台紙を使用する記念乗車券を同時発売しました。



△台北駅構内の東武鉄道PRコーナー

(3) 相互乗車券交流サービスについて

2015年12月19日（土）から2016年12月18日（日）の間、当社の指定企画乗車券または台鉄の指定乗車券をご購入いただいたお客様が、その乗車券（乗車券袋）を両者の指定駅にお持ちいただくと、両者の沿線観光におすすめの乗車券等のサービスが受けられます。

台湾鐵路管理局について

台湾鐵路管理局は、日本の国土交通省に相当する交通部に属しており、一般鉄道（在来線）を管理運営しています。台北・高雄の都市部を走るMRT（地下鉄）、台湾高速鐵路（台湾新幹線）は別組織が運営しています。

- ・営業キロ：1,064.5km
- ・駅数：225駅
- ・利用者数：637,881人/日（2014年実績）
- ・全従業員数：13,174名